

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

佐賀県 神埼市

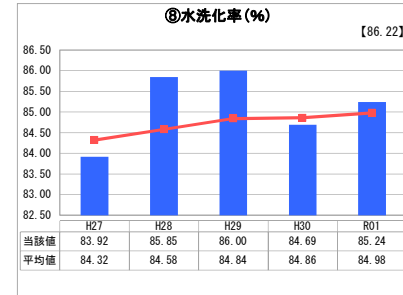
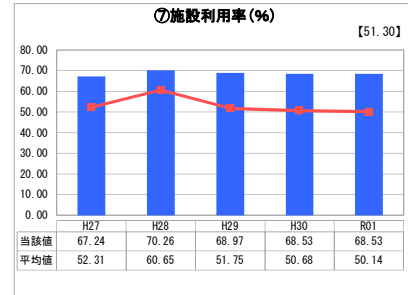
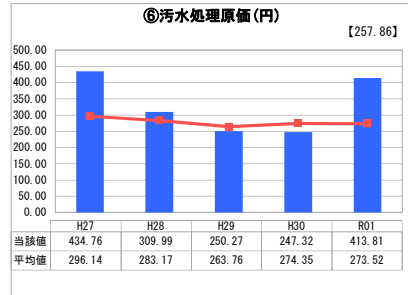
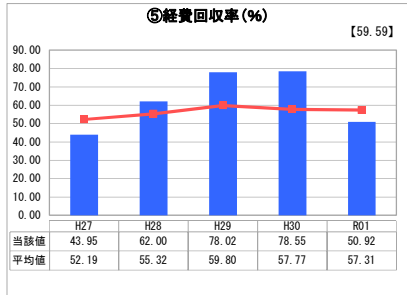
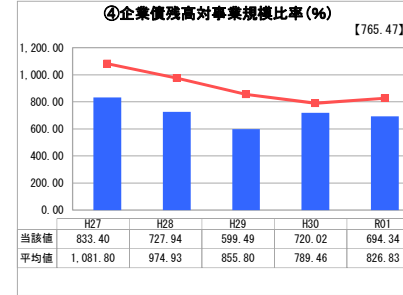
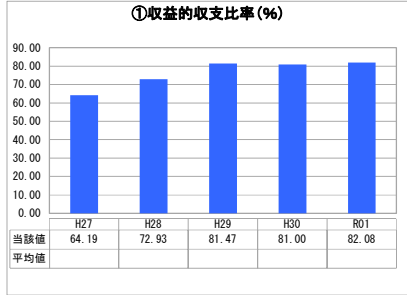
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.73	100.00	3,850

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
31,532	125.13	251.99
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
542	0.20	2,710.00

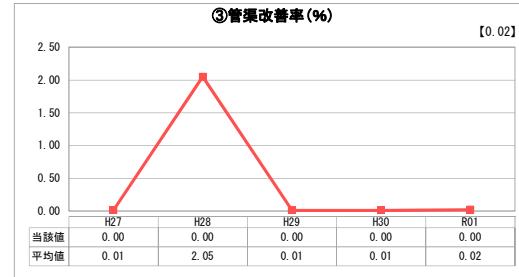
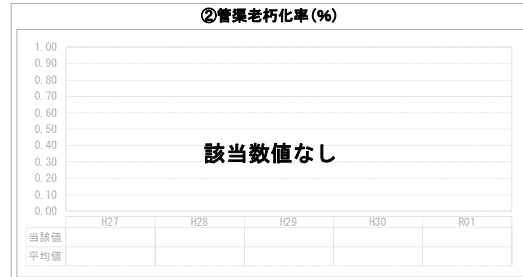
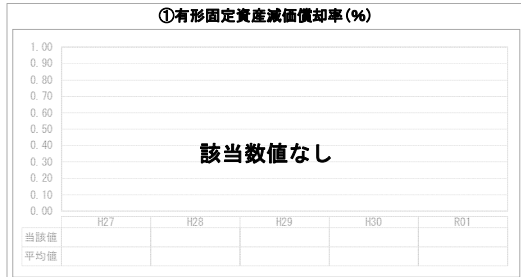
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、年々増加しており、維持管理費等の経費節減により回復傾向にある。また、比率が100%未満のため収支が赤字であること、さらなる経費削減等を行い経営改善に努める必要がある。

経費回収率については、公営企業会計に伴う打ち切り決算のため、使用料収入が減少、また、公共下水道へ繋ぎ込みに伴う維持管理費の増大により前年と比較して減少している。

汚水処理原価については、公共下水道へ徐々に接続していることで有収水量が減少。汚水処理費の増加に伴い前年度より増加傾向である。

施設利用率については、類似団体平均値と比較すると、高い水準で推移している。経年比較をする、平成28年度までは増加傾向であったが、平成29年度以降は同水準で推移している。

水洗化率については、類似団体平均値と比較すると、低い水準で推移していたが、既存アパート接続や新規加入に伴い増加したものの、転入転出の増減を繰り返している傾向がある。受益地についても開発等による増加が見込めない地域であり、区域内人口も減少傾向である。

### 2. 老朽化の状況について

平成10年3月31日供用開始を行い、20年を経過している。管渠改善率については、平成10年度より、管渠の更新等を行っていないため、数値は計上されていないが、区域内の配管不明水調査委託を平成26年度に行い、定期的な管路清掃やマンホールポンプの清掃を行っている。

維持管理費に比例した収入増が見込めない状況であるため、老朽化の対策として令和2年度に公共下水道への接続し、公共下水道区域として広域化を行い長寿命化計画の策定に取り込んだ市全域の管路の改善等計画を策定するとともに、市民生活に大きな支障が出ないよう道路陥没後の老朽管路の改築といった事後的な対応にならない取り組みが急務となっている。

### 全体総括

収益的収支比率において収支が赤字であり、経費削減等による経営改善に努める必要があるが、受益地の人口についても減少傾向である地域で、水洗化率の増も見込めない区域かつ、経費回収率も100%に届かず低水準で推移している。令和2年度に公共下水道へ接続し、その汚水処理施設の維持管理費削減を図る。また、令和2年度からの企業会計移行により、経営状況と財政状況を明確化し、下水道事業の経営基盤強化と持続可能な事業運営の確立を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。